

MIRS 2401

プロジェクトテーマ発表

資料 resemom(株式会社Doorkel調べ)
<https://resemom.jp/category/education/>

Q.高専生活に入ってみて不満に思うこと

Q.高専生活に入ってみて不満に思うこと



思ったよりも活気がない

Q.高専生活に入ってみて不満に思うこと

思ったよりも活気がない

実際に住む寮が汚い、
飯がまずい

Q.高専生活に入ってみて不満に思うこと

思ったよりも活気がない

実際に住む寮が汚い、
飯がまずい

勉強内容が思ったのと違う
D科のほうがAIを授業で扱う

Q.高専生活に入ってみて不満に思うこと

思ったよりも活気がない

実際に住む寮が汚い、
飯がまずい

勉強内容が思ったのと違う
D科のほうがAIを授業で扱う

こんな灰色の青春を送るなんて,,,

Q.高専生活に入ってみて不満に思うこと

思ったよりも活気がない

実際に住む寮が汚い、
飯がまずい

勉強内容が思ったのと違う
D科のほうがAIを授業で扱う

こんな灰色の青春を送るなんて...

入学前後でギャップがある

ギャップを埋める案内人

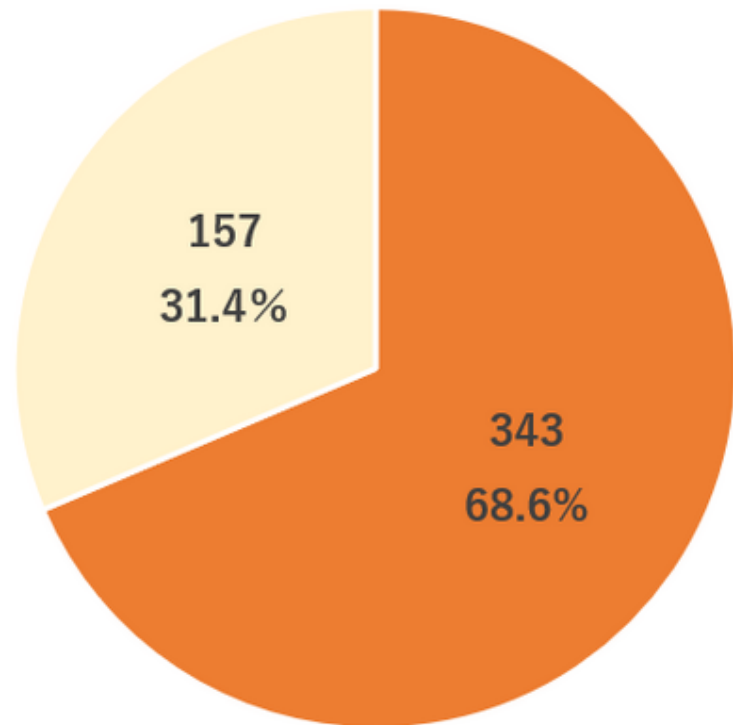
GAPlessプロジェクト

~ロボットと人との相互関係を通じてギャップのない世界へ~

ギヤツプがあるのは高専特有？

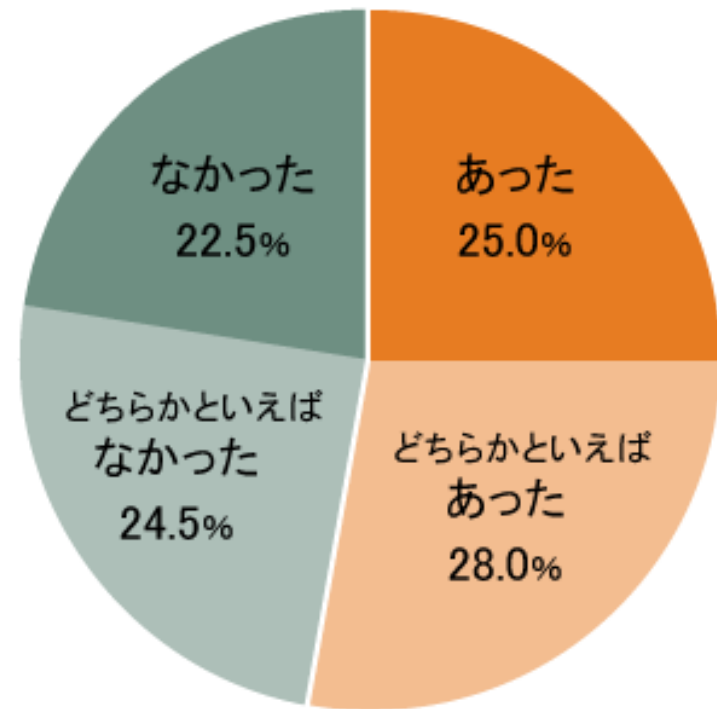
企業、教育機関とともに 事前情報と実態のギャップは問題

進路選択時に期待していたことと現状にギャップはありますか？



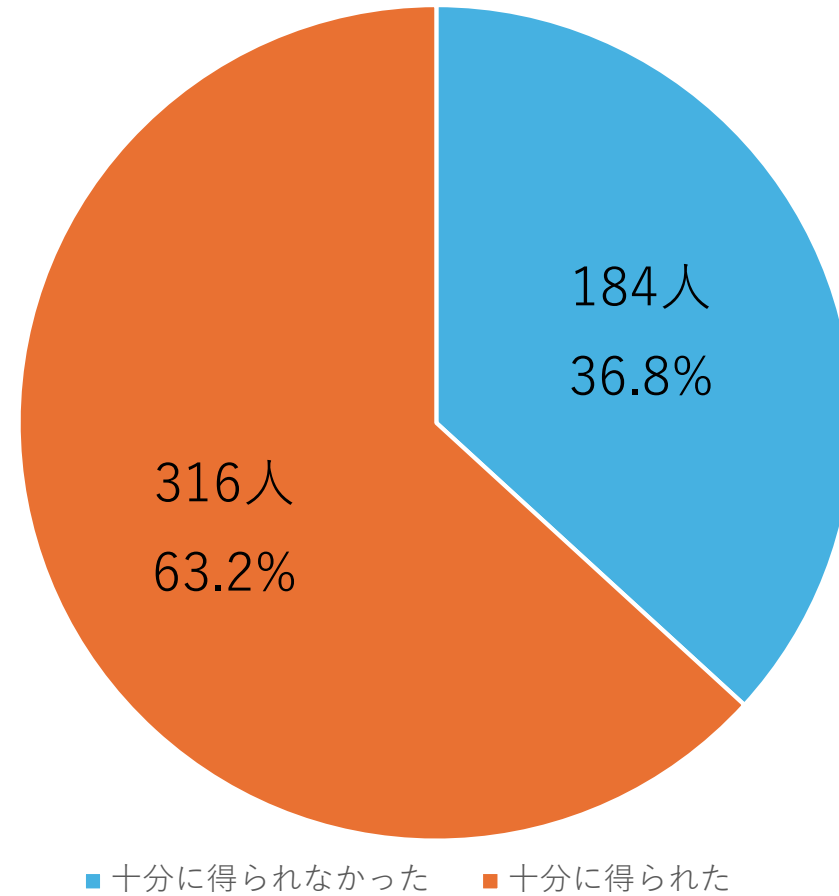
- 期待通りの経験ができ、満足している。
- 期待していたよりも良い経験はできず、悔いが残る。

入社前の期待に対し、入社後に違いを感じた経験はありますか？



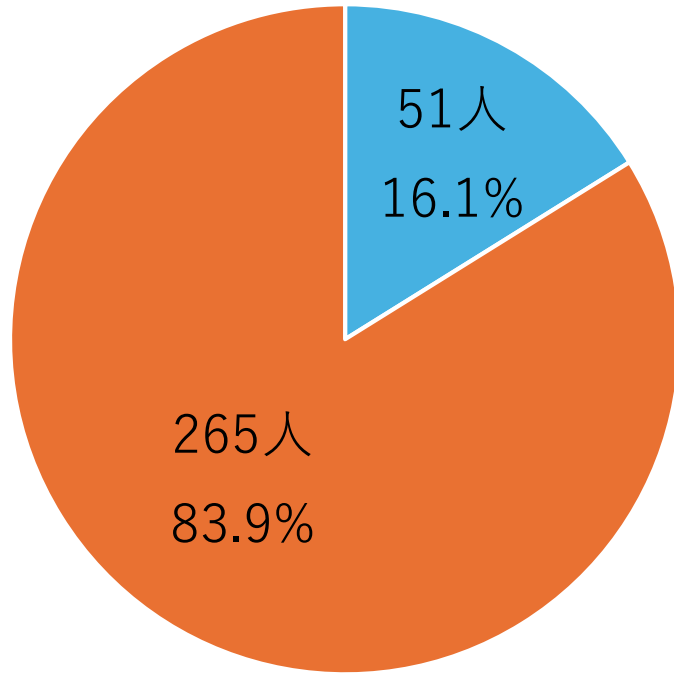
ギヤツプの原因は？

進路選択時、期待していた情報は、大学や専門学校からの発信内容
(ホームページやパンフレット、オープンキャンパスや学校説明会)で
十分に得られましたか？



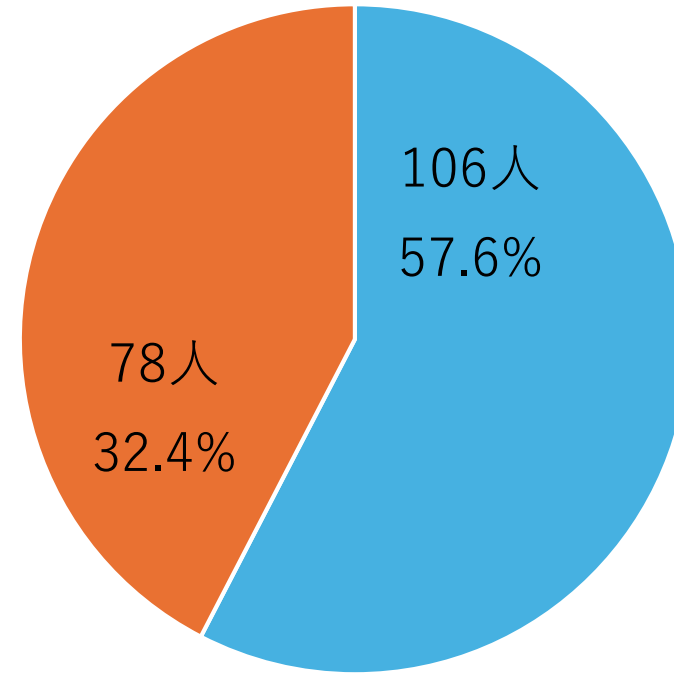
進路選択時に期待していたことと現状にギャップはありますか？

十分に事前情報を得られたグループ



- 期待していたよりいい経験ができず、悔いが残る
- 期待通りの経験ができ、満足している

十分に情報を得られなかったグループ



- 期待していたよりいい経験ができず、悔いが残る
- 期待通りの経験ができ、満足している

事前情報を得ておくことが重要

事前情報を得ておくことが重要

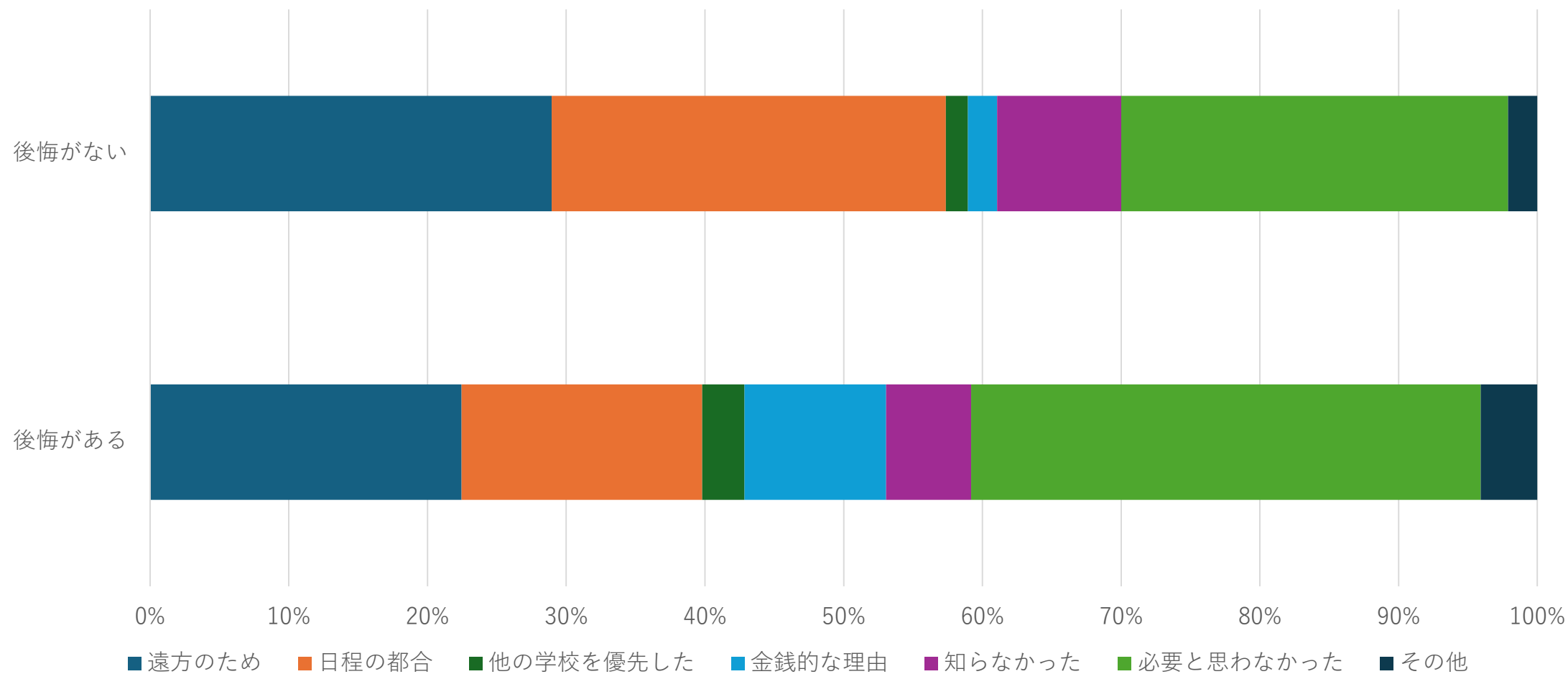
→ キャンパスツアーがどれだけそれに貢献できている？

事前情報を得ておくことが重要

→キャンパスツアーがどれだけそれに貢献できている？

→参加しない/できないならその理由は？

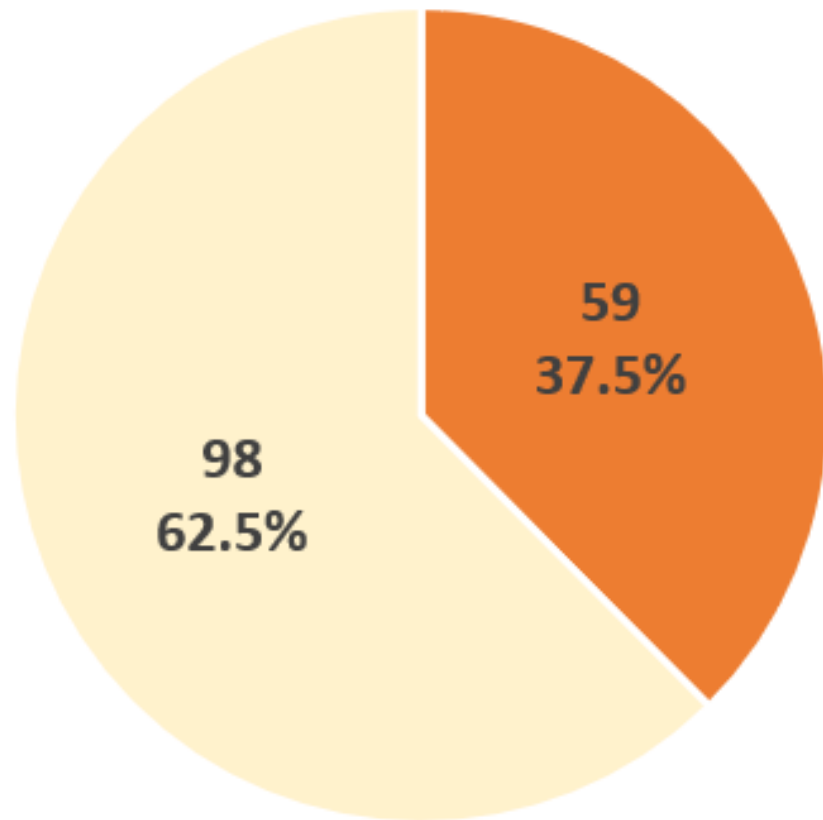
オープンキャンパスに参加しなかった理由



原因は不参加？

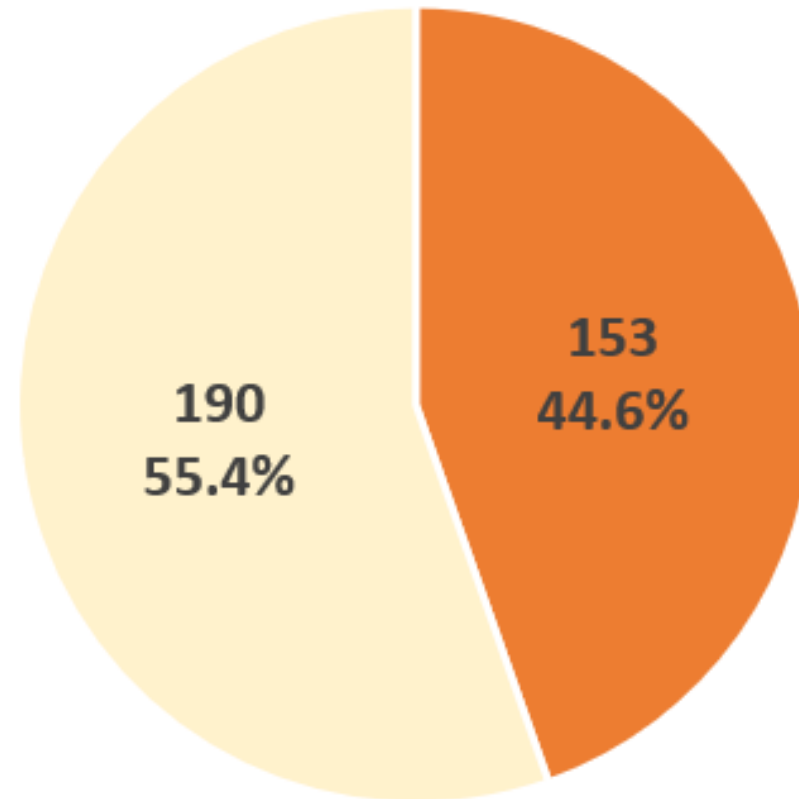
興味を持った分野の大学・専門学校を複数見つけ、すべての学校のオープンキャンパスや学校説明会に参加しましたか？

進路選択に後悔あり



■ はい ■ いいえ

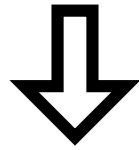
進路選択に後悔なし



■ はい ■ いいえ

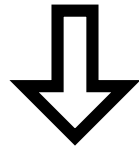
- 進路選択の後悔は事前情報の少なさに起因するが、オープンキャンパスの参加/不参加それ自体はそこまで大きな要因ではないようにこのデータからは見える(当然相関はある)

- 進路選択の後悔は事前情報の少なさに起因するが、オープンキャンパスの参加/不参加それ自体はそこまで大きな要因ではないようにこのデータからは見える(当然相関はある)



- 課題をキャンパスツアーの観点から解決するには参加のしやすさよりもその人が必要とする情報が正確に得られるようにする方向のアプローチがより効果的であると考えられる

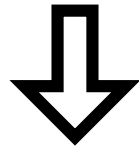
- 進路選択の後悔は事前情報の少なさに起因するが、オープンキャンパスの参加/不参加それ自体はそこまで大きな要因ではないようにこのデータからは見える(当然相関はある)



- 課題をキャンパスツアーの観点から解決するには参加のしやすさよりもその人が必要とする情報が正確に得られるようにする方向のアプローチがより効果的であると考えられる

事前情報の質を上げるには？

- 進路選択の後悔は事前情報の少なさに起因するが、オープンキャンパスの参加/不参加それ自体はそこまで大きな要因ではないようにこのデータからは見える(当然相関はある)

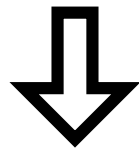


- 課題をキャンパスツアーの観点から解決するには参加のしやすさよりもその人が必要とする情報が正確に得られるようにする方向のアプローチがより効果的であると考えられる

案内？

事前情報の質を上げるには？

- 進路選択の後悔は事前情報の少なさに起因するが、オープンキャンパスの参加/不参加それ自体はそこまで大きな要因ではないようにこのデータからは見える(当然相関はある)



- 課題をキャンパスツアーの観点から解決するには参加のしやすさよりもその人が必要とする情報が正確に得られるようにする方向のアプローチがより効果的であると考えられる

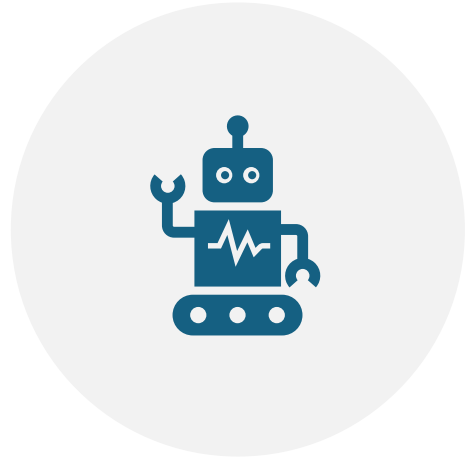
広報？

案内？

事前情報の質を上げるには？

案内の中でやりとりを通じてギャップを埋めていく

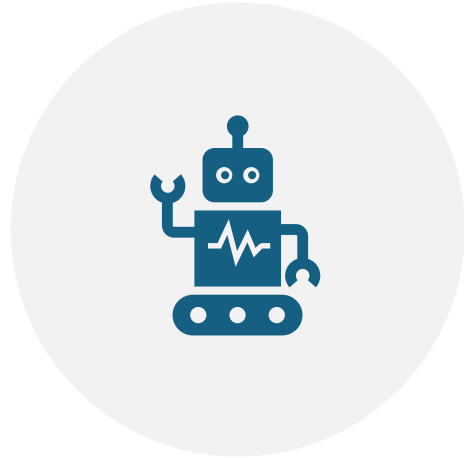
案内の中でやりとりを通じてギャップを埋めていく



ロボットとのやり取り

中立な「事実」、「統計」

案内の中でやりとりを通じてギャップを埋めていく



ロボットとのやり取り

中立な「事実」、「統計」



人間とのやり取り

主観的な「印象」、「経験」

ギャップを埋めるために重要な三要素

ギャップを埋めるために重要な三要素

- ロボットとのやり取り

ギャップを埋めるために重要な三要素

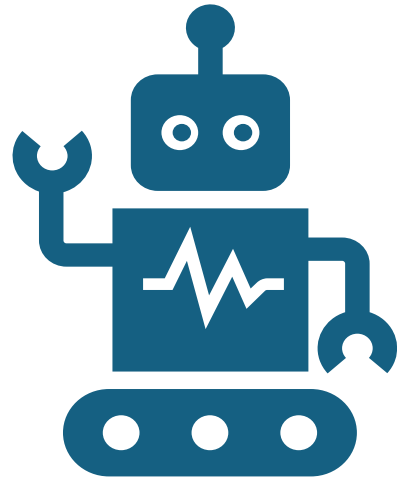
- ロボットとのやり取り
- 見学者と学校の人間との会話

ギャップを埋めるために重要な三要素

- ロボットとのやり取り
- 見学者と学校の人間との会話
- 普段の学校の様子の見学

ロボットとやり取りしながら見学

高専の特徴は～
電子制御工学科では～



高専ってどんなところ？
学科の特徴は？



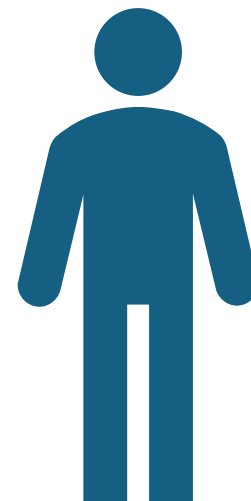
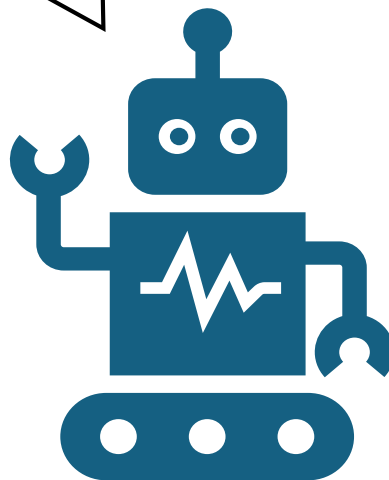
学校の人と話す機会をシステムで提供

在校生から
話を聞きたい

話してくれる人
がいます

学校、部活の
魅力を伝えたい

聞きたい人
がいます

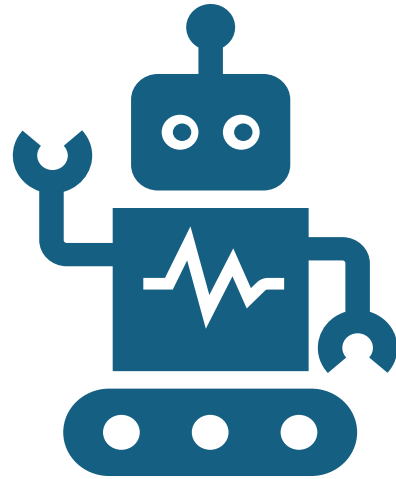


学校の人と話す機会をシステムで提供

D科を志望
入寮希望



Aさんと
話しましょう

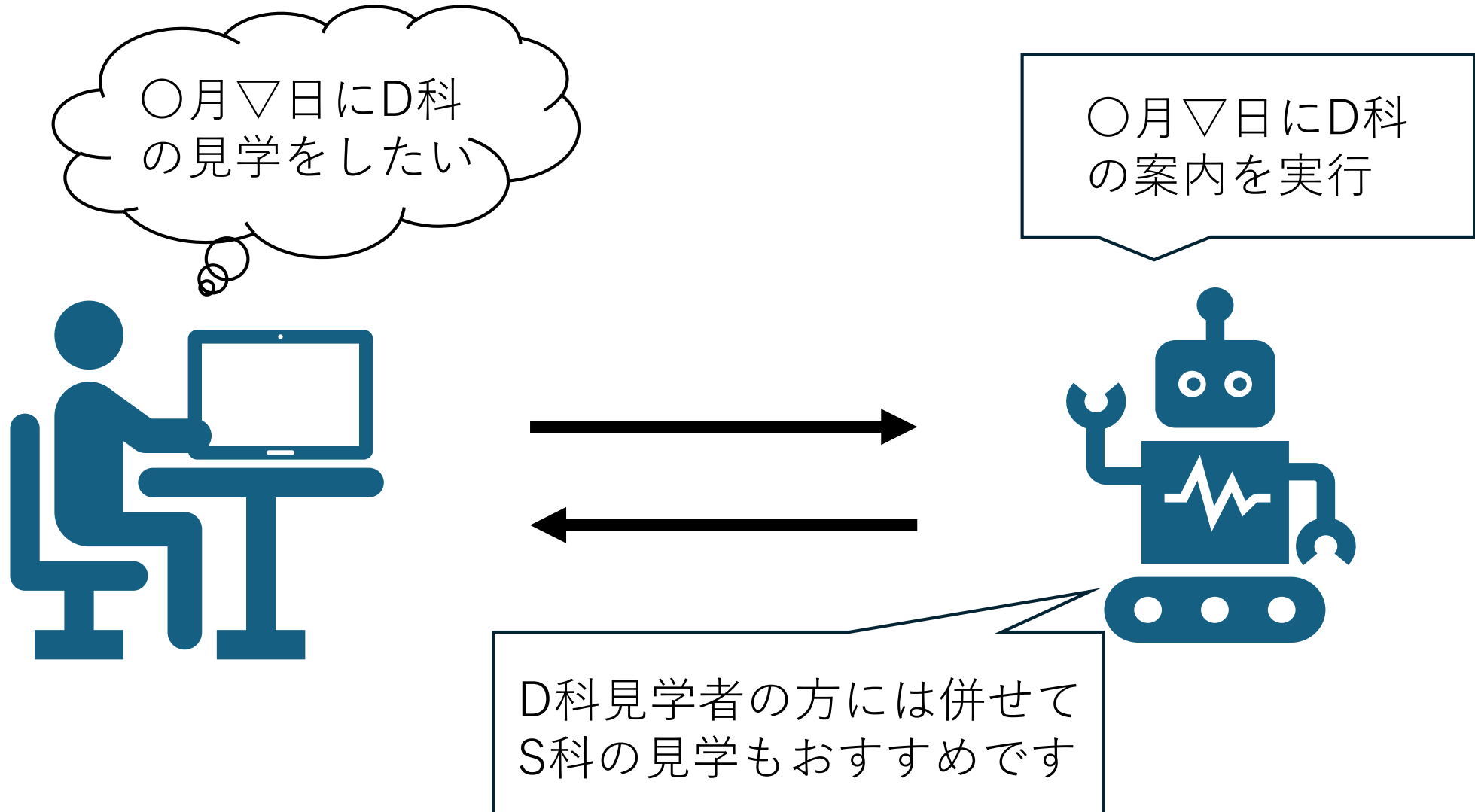


<Aさん>
D科
3年生
寮生
部活無所属



<Bさん>
S科
2年生
自宅通学生
ロボコン部

見学者主体の学校見学



類似事例

明星大学・分身ロボットを使用したキャンパスツアー



分身ロボットOriHime・株式会社オリィ研究所が開発した分身ロボット。カメラ・マイク・スピーカーが搭載されており、インターネットを通して操作することで、「その人がその場にいる」ようなコミュニケーションを実現。

遠隔でのキャンパスツアーで、アクセシビリティの点からアプローチした事例で、障がいのある人でも学校見学ができる
小型ロボットを人間が運んでいる

JALの道案内ロボット「JET」 遠隔操作でオペレーターが操縦



<https://ontrip.jal.co.jp/jalstyle/17384334>

東京都立産業技術研究センター 道案内ロボット Libra

Libraは、来訪者と対話し、
施設内の情報を提供したり、
目的地まで先導して案内することができる。



<https://www.iri-tokyo.jp/uploaded/attachment/11322.pdf>

ギャップの生じない社会のために
新たなスタイルの学校案内を提案します

GAPlessプロジェクト



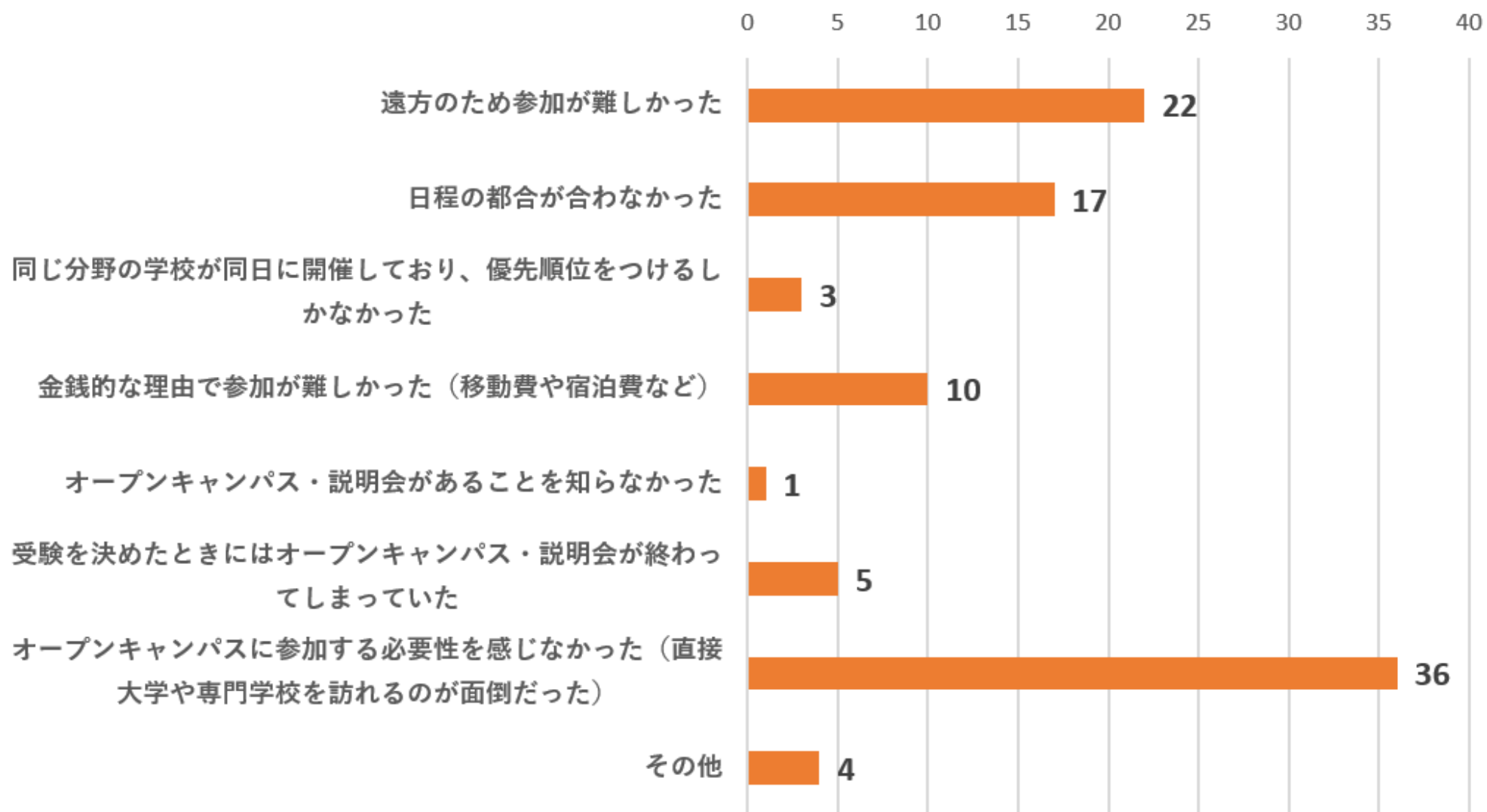
ギャップを埋める
案内人

GAPless
プロジェクト

ギャップの生じない社会のために
新たなスタイルの学校案内を提案します
—GAPlessプロジェクト

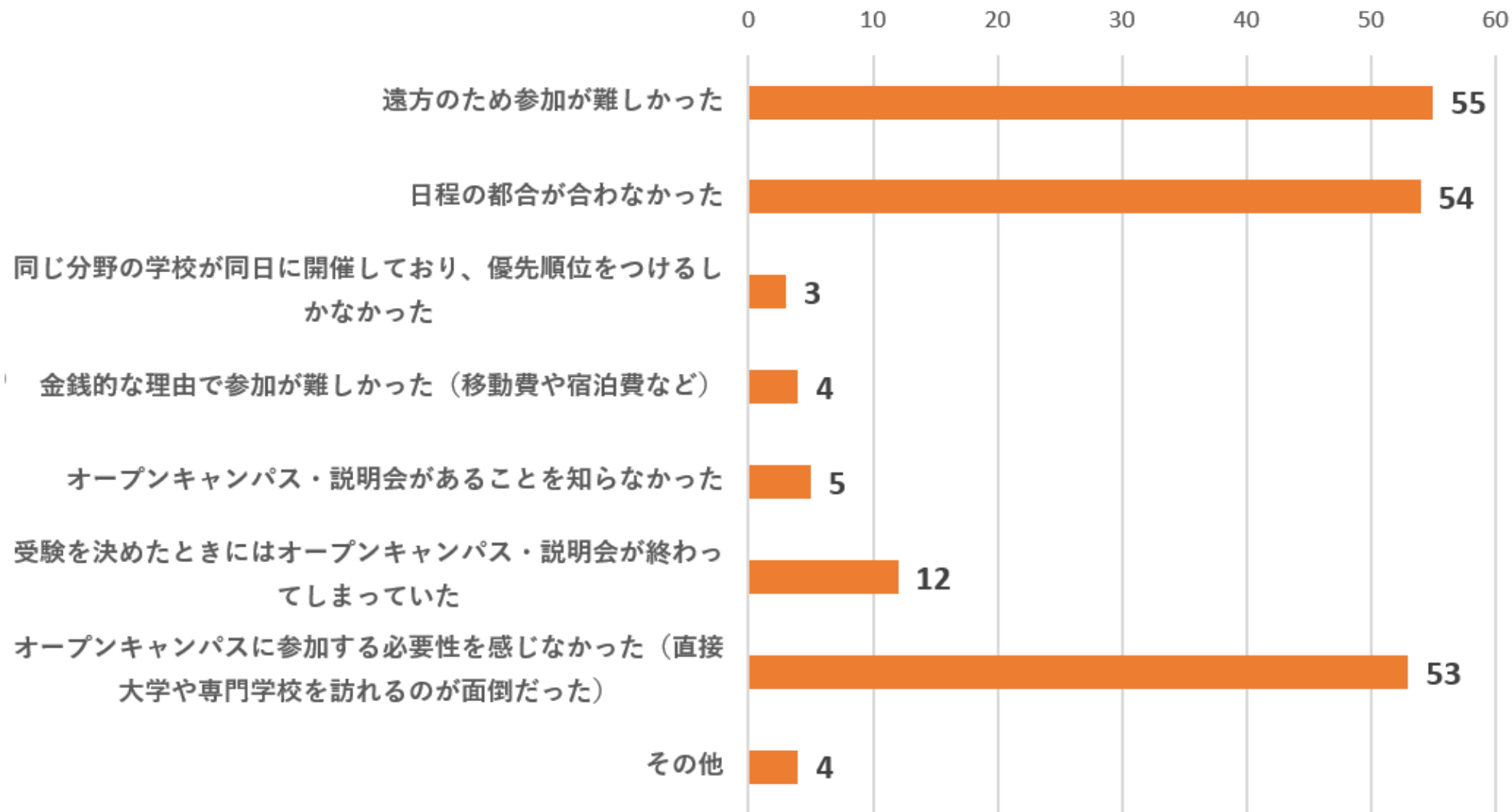
進路選択に後悔あり

複数のオープンキャンパスや学校説明会に、参加しなかった理由を教えてください。



進路選択に後悔無し

複数のオープンキャンパスや学校説明会に、参加しなかった理由を教えてください。



大まかな傾向は同じ
金銭面が少し多い